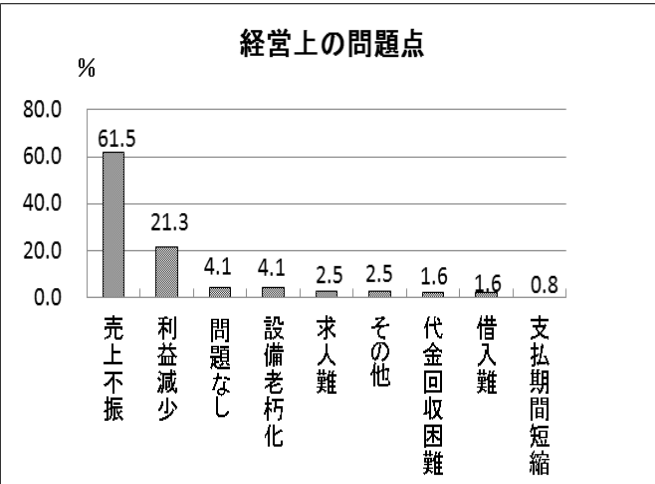
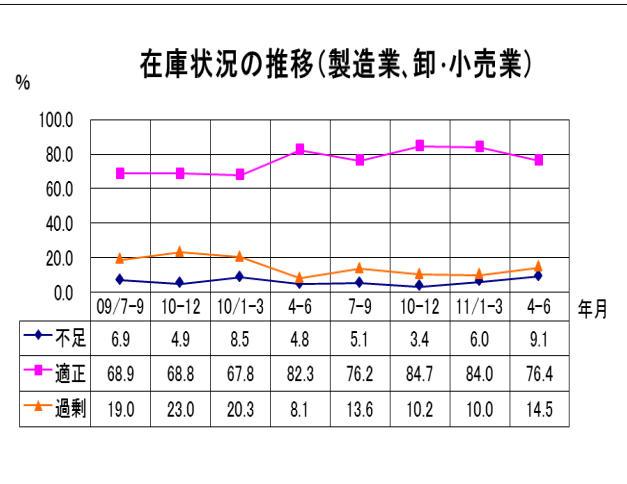


# 村上市景況調査報告

平成23年4～6月期の実績と平成23年7～9月期の見通し



調査時期：2011年6月中旬～2011年7月上旬

調査対象：村上市内事業所 200社 有効回答数 122社 (回収率61.0%)

[業種別内訳] 卸売・小売業64社、建設業41社、製造業28社、飲食店・宿泊業20社、サービス業47社  
[地区別内訳] 村上地区103社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区20社、山北地区23社

実施機関：村上市商工観光課

村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会

分析機関：村上商工会議所

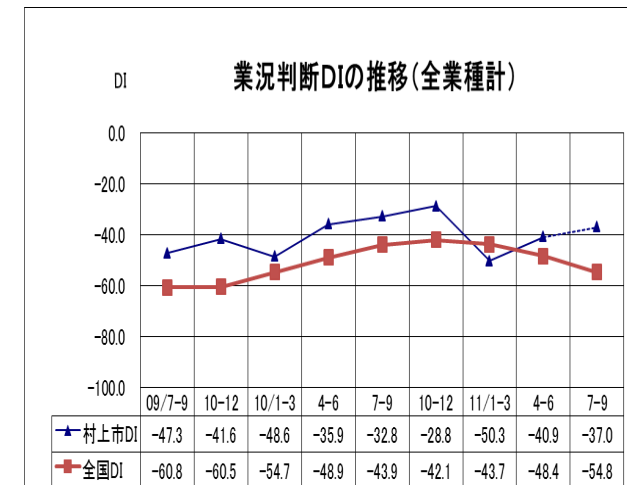
全国状況：全国中小企業動向調査結果【小企業編】(2011.4～6実績、2011.7～9見通し)

日本政策金融公庫 総合研究所

DI = 「良い」企業割合 - 「悪い」企業割合 (売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。)

## 『大震災の打撃から脱し、持ち直しの動きも見られる。』

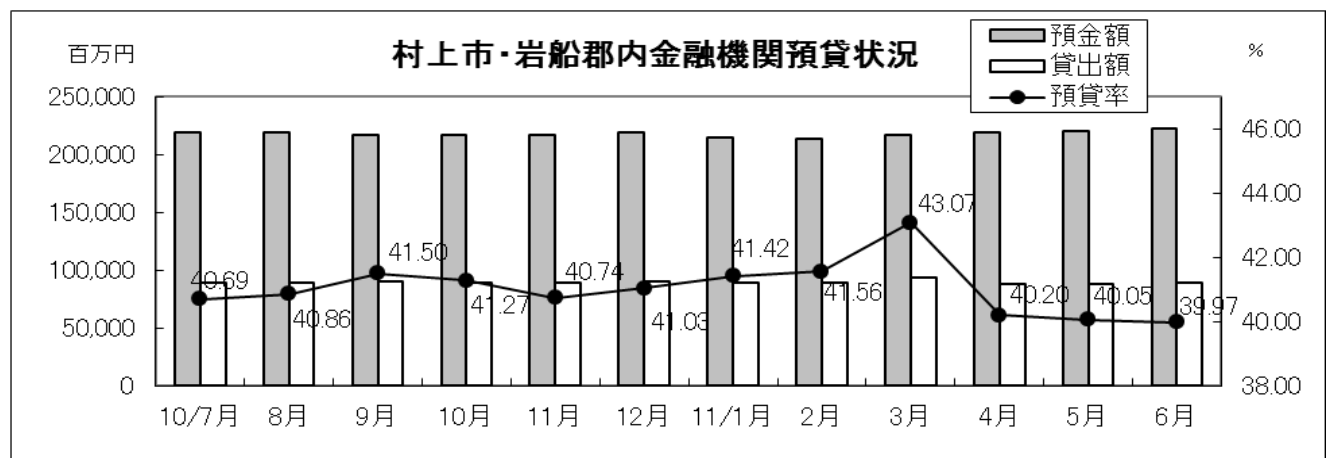
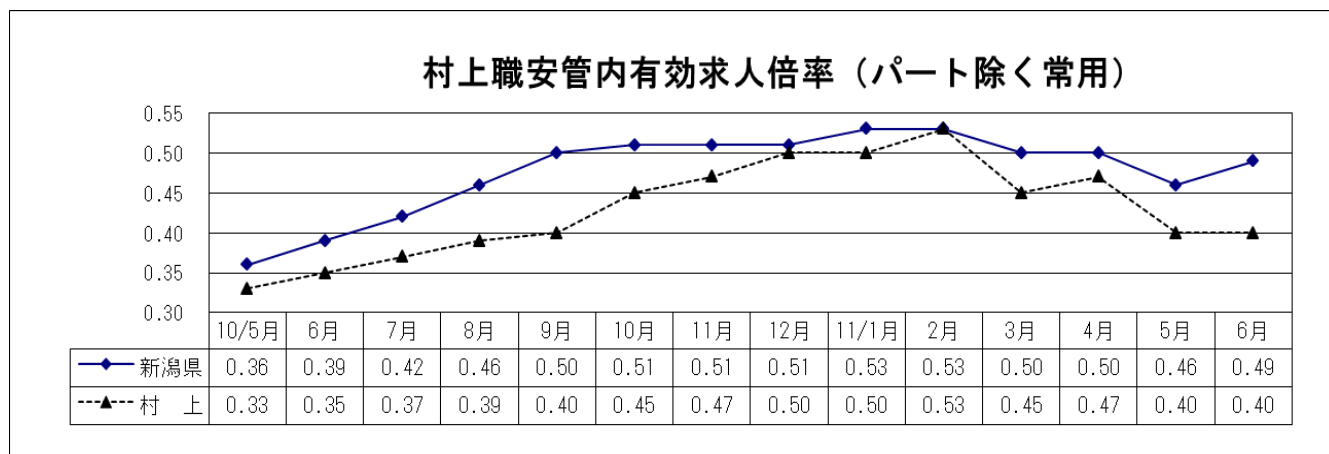
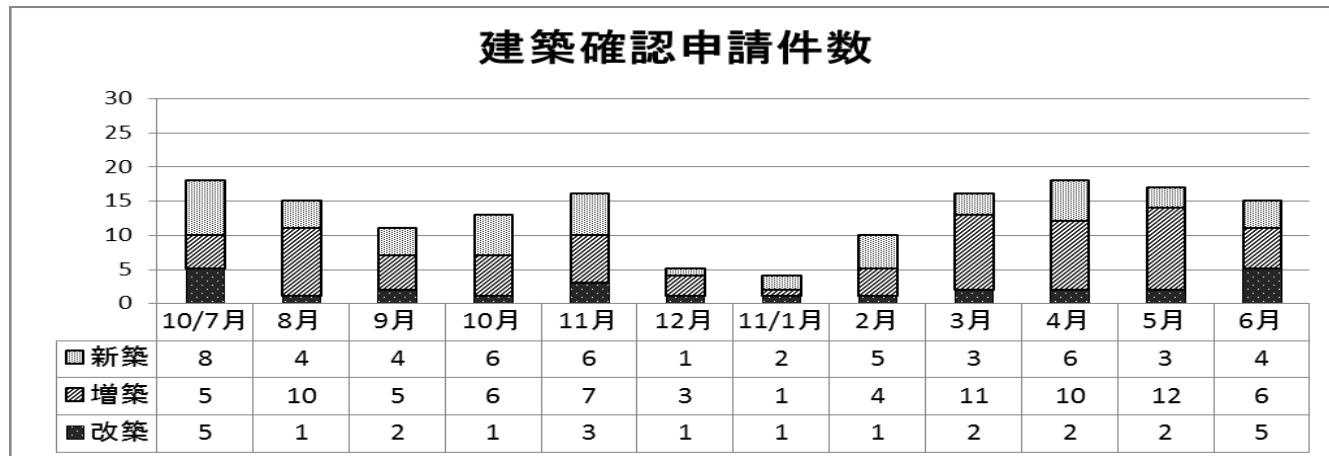
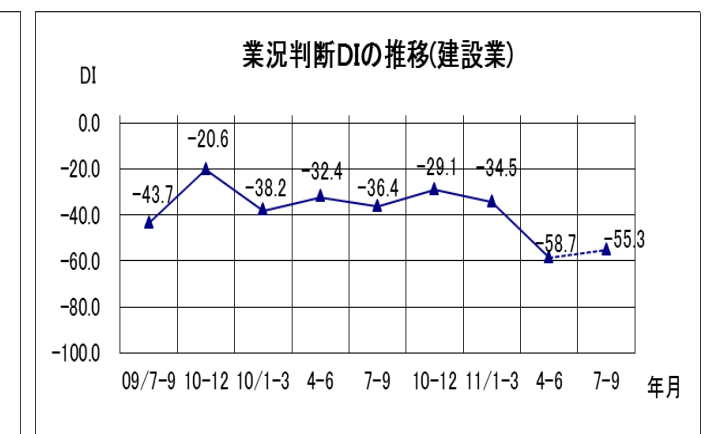
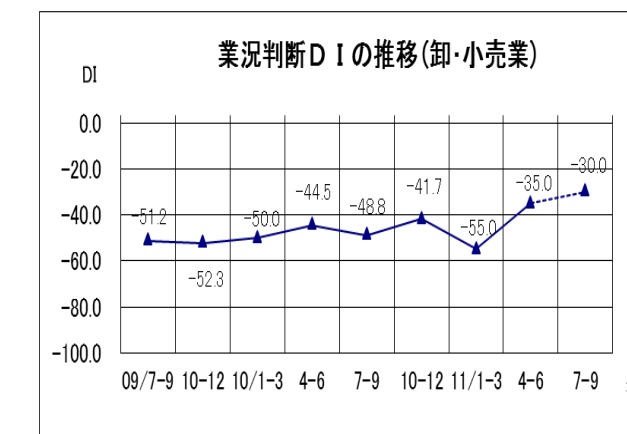
### ■村上市の業況

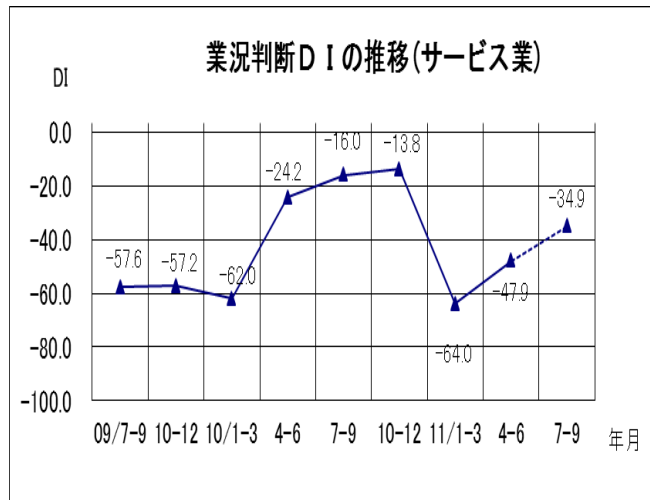
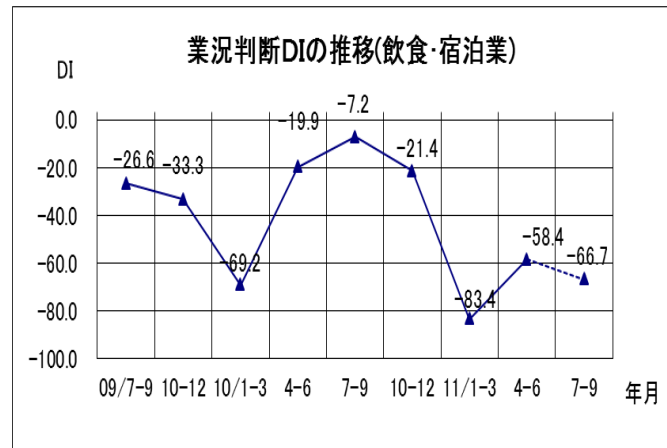
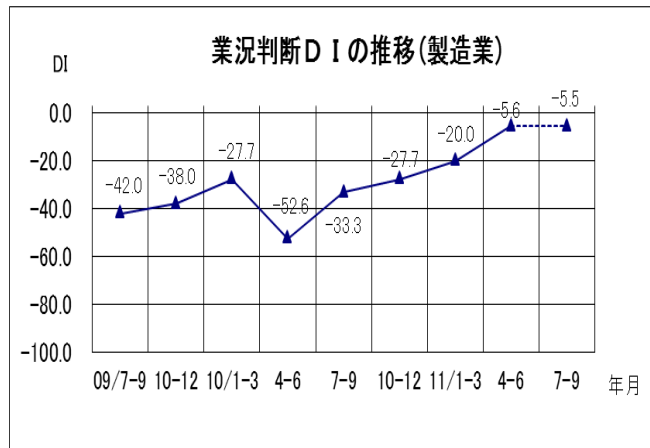


今期(11/4～6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(11/1～3月期)に比べて9.4ポイント上昇し▲40.9となった。前期での今期見通しは、東日本大震災の影響により▲69.0と大変厳しい見方をしていたが、高速道路の延伸効果や震災自粛ムードの払拭等が相まって、ゴールデンウィーク頃より客足が戻り始めたことや、被災地の代替受注などにより、建設業以外の全業種でDIが上昇し、深刻な事態予測からは脱した模様。

来期(11/7～9月期)については、更に3.9ポイント上昇し▲37.0となる見通しで、前年同期実績より4.2ポイント下回る見込み。

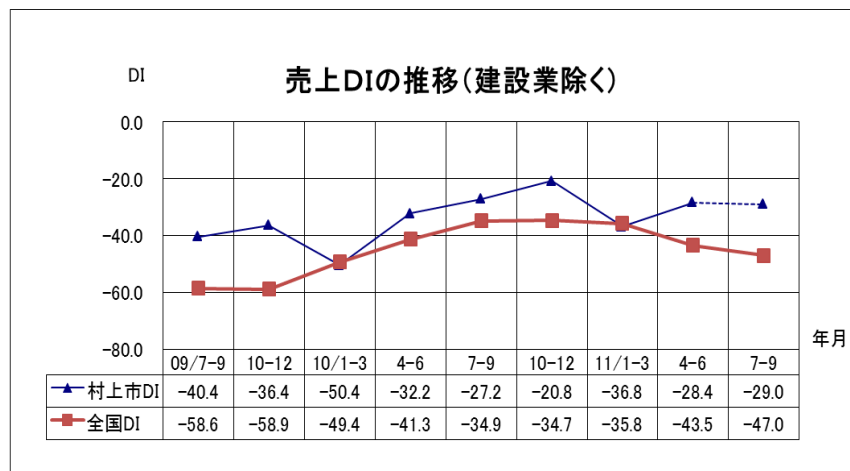
今期の全国DIは前期比4.7低下の▲48.4で、低下は2期連続。来期は、更に6.4ポイント低下し▲54.8となる見通し。





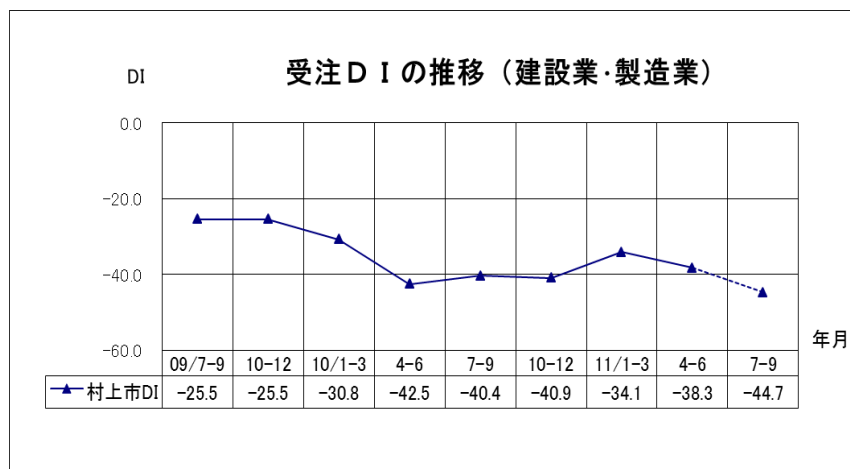
今期の業種別業況判断DIは、建設業以外の業種で、全てポイントが2桁台で上昇した。飲食・宿泊業は25.0ポイントと大きく上昇し▲58.4となったが、その水準はリーマン・ショック後に大幅に落ち込んだ09/1~3月期の▲62.4に近い。製造業は、4期連続の上昇で▲5.6となり、調査開始以来最高の水準で、景気の牽引役となっている。小売業もまた前期比20.0ポイント上昇の▲35.0で、調査開始以来最高の水準。サービス業では16.1ポイント上昇した。建設業は、住宅設備工事や公共工事など受注不振で、24.2ポイント低下した。

来期については、海水浴客や夏物需要の期待感などから飲食・宿泊業を除く全業種でDIが上昇する見通し。飲食・宿泊業は先行き不透明感などで、8.3ポイント低下する模様。



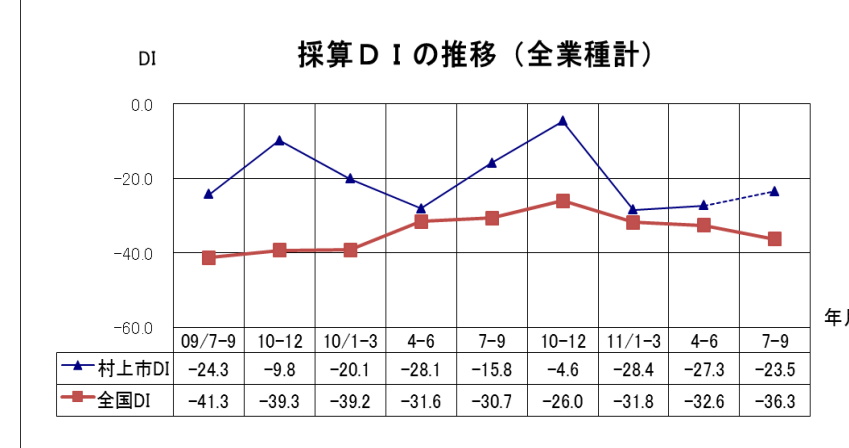
今期の売上DI(建設業除く)は、前期より8.4ポイント上昇し▲28.4となった。前年同期比では、3.8ポイント下回った。全国DIは前期比7.7ポイント低下の▲43.5となった。

来期については、0.6ポイント低下の▲29.0となる見通し。全国DIは3.5ポイント低下する見通しで、水準は村上DIより18ポイント下回る模様。



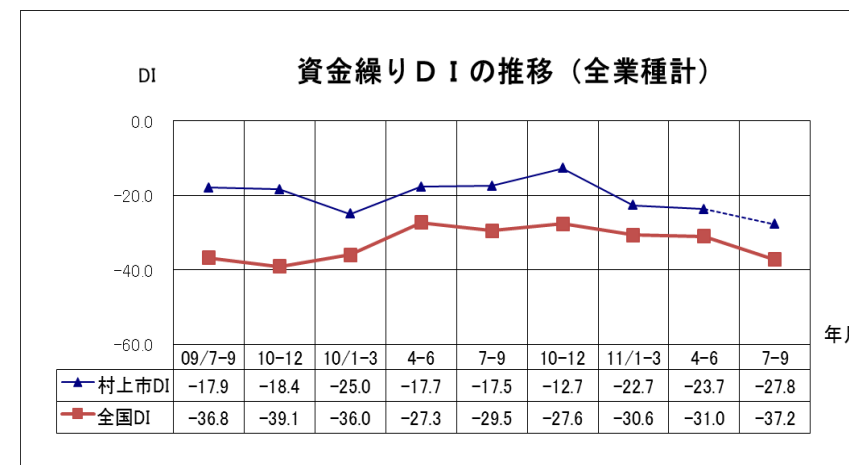
今期の受注DI(建設・製造業)は、4.2ポイント低下し▲38.3となった。  
 <DI内訳> 前期 今期  
 建設業▲48.4 → ▲48.3  
 製造業▲6.7 → ▲17.7

来期については、更に6.4ポイント低下し、▲44.7となる見通しである。  
 <DI内訳> 今期 来期  
 建設業▲48.3 → ▲62.1  
 製造業▲17.7 → ▲11.8



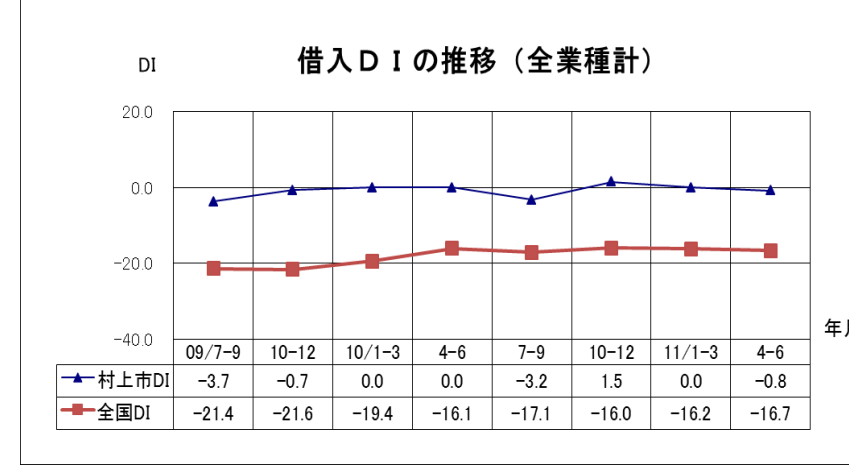
今期の採算DI(全業種計)は、前期比1.1ポイントの上昇で▲27.3となり、前年同期実績を0.8ポイント上回った。全国DIは0.8ポイント低下し、▲32.6となった。低下は2期連続。

来期については、更に3.8ポイント上昇し、▲23.5となる見通しである。全国DIは3.7ポイント低下し、▲36.3となり、前年同期実績を5.6ポイント下回る見通し。



今期の資金繰りDI(全業種計)は、1.0ポイント低下し、▲23.7となった。低下は2期連続である。全国DIも前期比0.4ポイント低下の▲31.0となり、2期連続の低下となった。

来期については、更に4.1ポイント低下し▲27.8となる見通し。全国DIも6.2ポイント低下し、▲37.2となる通し。

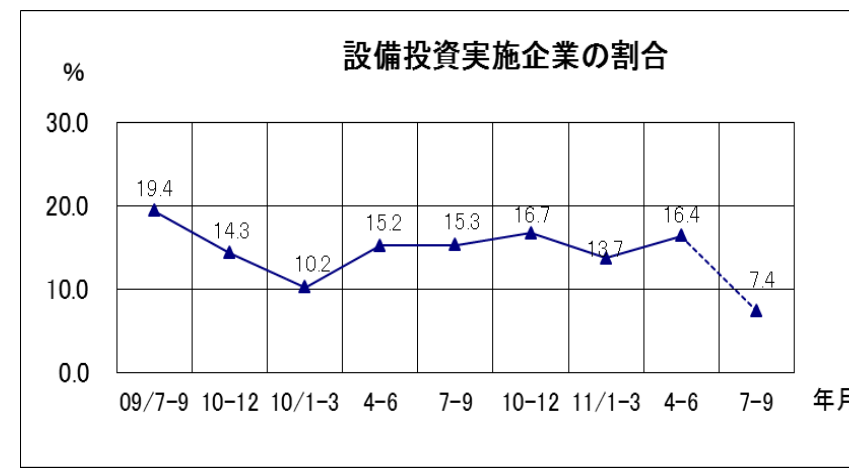


今期の借入DI(全業種計)は、0.8ポイント低下し、▲0.8となった。

<内訳は以下の通り>  
 「容易になった」  
 前期 5.9% → 今期 5.0%

「変わらない」  
 前期 46.6% → 今期 40.8%

「難しくなった」  
 前期 5.9% → 今期 5.8%



全業種における今期の設備投資した企業の割合は、前期比2.7ポイント上昇の16.4%となった。

来期に設備投資を予定している企業の割合は、9.0ポイント低下の7.4%となる見通しで、調査開始以来、最低の水準となる見込みである。